

所属名	事務事業名	ページ番号
国際課	国際交流員招致事業（JET事業）	2
国際課	アメリカ・グレンズフォールズ市との交流事業	3
国際課	韓国・釜山広域市蓮堤区との交流事業	4
国際課	中国・連雲港市との交流事業	5
国際課	佐賀市国際交流協会支援事業	6
国際課	フランス・クサック村との交流事業	7
国際課	留学生奨学金給付事業	8
国際課	多文化共生推進経費	9
国際課	日本語学習推進事業	10

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	国際交流員招致事業（JET事業）	事業期間	平成 5 ～ 年度
担当部署・係名	国際課 国際交流係	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	多文化共生の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	外国青年招致事業（JETプログラム）を活用して国際交流員を配置することにより、市民の国際交流の進展や異文化理解、地域での多文化共生を推進する。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館等地域での国際理解講座開催 17回 ・市報毎月1日号交流員の連載及び佐賀市国際交流協会発行紙の連載 8回 ・市の行事（事業）の公式通訳・資料等の翻訳 42回 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,075	5,007	4,089		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
英語遊び、国際理解講座等の開催						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
33	33 14	50 17	50	50		

成果指標②						単位
参加者等交流した人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
804	800 264	1,000 290	1,000	1,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員不在の時期が発生したため（約3か月） ・新型コロナウイルス感染症対策の規制期間中だったため、事業回数自体が減少したこと、また参加者人数を絞って開催したことにより、計画どおりに実績を上げることができなかった。



成果目標達成に向けた対応策等
<p>オンラインでの事業開催の検討</p> <p>学校から申込があつてからの国際理解講座の開催ではなく、定期開催の検討</p> <p>講座を開催するうえで効果的な内容や資料作成、また周知方法等についての工夫</p> <p>S N S等による発信が活用できないか検討</p>

令和5年度 事務事業進捗報告シート

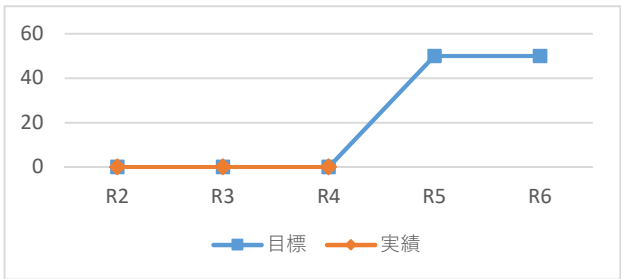
事務事業名	アメリカ・グレンズフォールズ市との交流事業	事業期間	昭和 63 ~ 年度
担当部署・係名	国際課 国際交流係	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	多文化共生の推進	

1 事務事業の基本情報

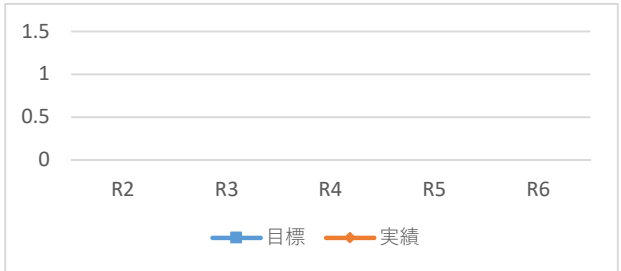
事業概要・目的	姉妹都市の盟約を結んでいるグレンズフォールズ市と教育交流、バルーン交流等を通じて得た交流体験から、異文化への興味関心と理解を深める。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度事業はすべて事前に中止 ・令和5年度に控えている姉妹都市締結35周年記念訪問団派遣事業の事前準備（旅行業者選定、市民訪問団員募集・選定、グレンズフォールズ市との調整等）事務 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	-	-	-	-	-
うち佐賀市の負担額	-	-	-	-	-

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
訪問団の受入、派遣により交流（異文化体験）できた市民の数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	-	-	50	50		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
△	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業はすべて事前に中止したため、事業自体を組んでおらず成果目標も立てていない。



成果目標達成に向けた対応策等
<p>オンラインを利用した交流事業の検討</p> <p>平時からの国際理解講座の開催等による市民への異文化理解の推進や国際交流の啓発</p> <p>派遣、受入等実施時の広報等事前周知</p>

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	韓国・釜山広域市蓮堤区との交流事業	事業期間	平成 10 ~ 年度
担当部署・係名	国際課 国際交流係	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	多文化共生の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	姉妹都市の盟約を結んでいる蓮堤区と訪問団の派遣・受入等を通じて得た交流体験から、異文化への興味関心と理解を深める。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀市内小学校と、蓮堤区内の小中学校による民間交流事業の一部支援（児童訪問団の受入（11月）と派遣（1月）） ・新型コロナウイルス感染症の影響により、公式訪問団の受入は中止 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	-	-	763		
うち佐賀市の負担額	-	-	0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
訪問団の受入、派遣により交流（異文化体験）できた市民の数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	50 -	50 88	50	50		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	新型コロナウイルス感染症の流行で中止になっていた事業が一部再開したこと、また中止後初の再開ということで、例年より事業の規模が大きくなったため。



成果目標達成に向けた対応策等
平時からの国際理解講座の開催等による市民への異文化理解の推進や国際交流の啓発 派遣、受入等実施時の広報等事前周知 オンラインを利用した交流事業の検討

令和5年度 事務事業進捗報告シート

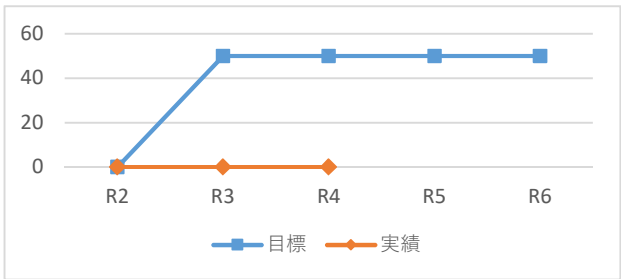
事務事業名	中国・連雲港市との交流事業	事業期間	平成 10 ~ 年度
担当部署・係名	国際課 国際交流係	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	多文化共生の推進	

1 事務事業の基本情報

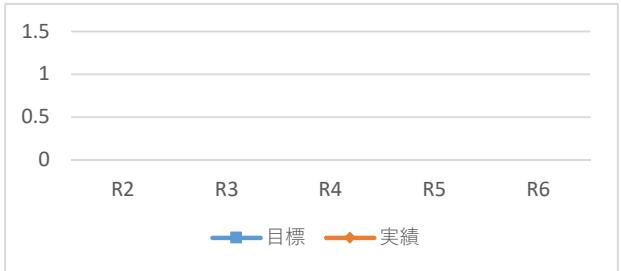
事業概要・目的	友好都市の盟約を結んでいる連雲港市と訪問団の派遣・受入等を通じて得た交流体験から、異文化への興味関心と理解を深める。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業はすべて中止 (公式訪問団の受入を予定)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	-	-	-	-	-
うち佐賀市の負担額	-	-	-	-	-

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
訪問団の受入、派遣により交流（異文化体験）できた市民の数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	50 -	50 -	50 -	50		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が全て中止されたため。



成果目標達成に向けた対応策等
オンラインを利用した事業の検討 平時からの国際理解講座の開催等による市民への異文化理解の推進や国際交流の啓発 派遣、受入等実施時の広報等事前周知

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市国際交流協会支援事業	事業期間	平成 3 ~ 年度
担当部署・係名	国際課 国際交流係	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	多文化共生の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市国際交流協会が実施する市民と外国人との交流事業を支援し、市と連携した国際交流、多文化共生事業を推進するために協会運営費の一部を助成する。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生・技能実習生オリエンテーション 6回 ・国際家庭料理講座 2回 ・国際理解講座 5回 ・在住外国人によるパネルディスカッション 1回 ・初級日本語集中講座 3回 ・子育て支援事業 4回 ・スポーツ交流会 1回 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,000	10,775	11,500		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
自主事業の開催数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
23	23 12	25 22	25	25		

年度	目標	実績
R2	25	23
R3	25	12
R4	25	22
R5	25	25
R6	25	25

成果指標②						単位
自主事業への参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
375	375 250	400 687	400	400		

年度	目標	実績
R2	400	375
R3	400	250
R4	400	687
R5	400	400
R6	400	400

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症対策を取りつつ、事業を実施できたこともあり、概ね達成することができた。

成果目標達成に向けた対応策等
在住外国人との定期的な連絡調整や、地域の国際化を目指す民間団体との連携が必要。協会事業の効果的な周知方法を検討する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

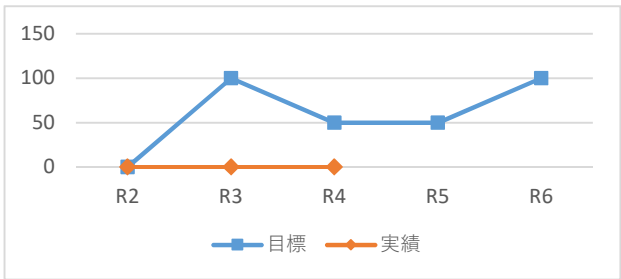
事務事業名	フランス・クサク村との交流事業	事業期間	昭和 63 ~ 年度
担当部署・係名	国際課 国際交流係	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	多文化共生の推進	

1 事務事業の基本情報

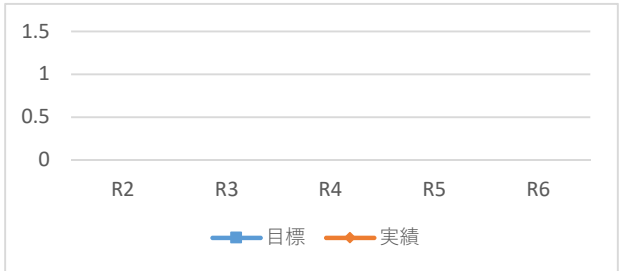
事業概要・目的	姉妹都市の盟約を結んでいるクサク村と訪問団の派遣・受入等を通じて得た交流体験から、異文化への興味関心と理解を深める。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業はすべて中止 (中学生の派遣、成人訪問団受入を予定)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	139	162	137		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
訪問団の受入、派遣により交流（異文化体験）できた市民の数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	100 -	50 -	50 -	100		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が全て中止されたため。



成果目標達成に向けた対応策等
オンラインを利用した交流事業の検討 平時からの国際理解講座の開催等による市民への異文化理解の推進や国際交流の啓発 派遣、受入等実施時の広報等事前周知 (成果指標については、訪問団の派遣と受入を交互に実施しているため、受入年の交流が多くなる)

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	留学生奨学金給付事業	事業期間	平成 9 ~ 年度
担当部署・係名	国際課 多文化共生係	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	多文化共生の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人留学生に奨学金を給付することにより、佐賀市での学生生活を経済的に支援する。 ・奨学金の支給で学業に専念しやすい環境づくりを手伝う代わりに、自分の特徴や長所を生かし、市内の国際交流・多文化共生推進活動へ協力を促す。 ・帰国後は、佐賀や日本の良き理解者として国際交流の担い手となるよう期待する。 				
事業の対象者	市内に居住し、市内大学等に在籍する外国人留学生で、大学等の学長の推薦を受ける者				
令和4年度 主な活動実績	奨学生数年20人に月2万円を支給				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,500	4,680	4,580		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
給付人数						人
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績
20	20	20	18	18		

成果指標②						単位
国際交流イベント等への参加人数（延べ）						人
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	実績
29	40	60	45	45		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症感染拡大が続き、イベントの機会、参加者数も伸び悩んだが、留学生の生活を支援する奨学金としての意義は十分に果たしている。人材活用として多言語化が必要な資料や通知文等の翻訳を依頼し、市内の多文化共生推進への協力へつなげた。

成果目標達成に向けた対応策等

<ul style="list-style-type: none"> ・留学生を受け入れている学校と、学習環境を整えるための連絡会議を定期的で開催し、学内外の連携を深める。 ・奨学生の意見を取り入れながら事業を計画・実施し、協力体制を整える。 ・地域活動やイベント等に、奨学生を中心に留学生が積極的に参加できるような広報や仕組みを提案する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	多文化共生推進経費	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	国際課 多文化共生係	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	多文化共生の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を通じて多文化共生を推進し、市民誰もが安心して暮らし続けることができる地域社会を目指す。 ・関係団体と共に地域での交流を支え、在住外国人にもふるさとと感じてもらえるような風土を醸成する。 ・国籍・性別・世代などの違いを超え、市民全てが役割を持ち、地域で共に支え合いつなげる共生社会を目指す。 				
事業の対象者	全市民、主に地域のまちづくりに関わる市民、在住外国人と日頃触れ合う機会のある市民				
令和4年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内留学生受入校との「留学生支援にかかる意見交換会」（令和4年7月） ・留学生、技能実習生転入時オリエンテーションの実施（令和4年4月、6月、7月、12月 4回） ・在住外国人懇話会の実施（令和4年5月、8月、10月 3回） ・やさしい日本語 市報さが 発行（年間24回） ・多文化共生推進事業補助金（赤松校区、南川副校区） ・やさしい日本語（一般職員）職員研修、多文化共生にかかる管理職職員研修（令和5年1月 2回） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	755	1,032	805		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
多文化共生会議、事業、研修、イベント等の開催・参加回数						回
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
33	40	34	44	32	48	53
成果指標②						単位
やさしい日本語等、自主事業研修等の出席者数						人
R2 実績	R3 目標	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績
118	130	235	143	324	157	172

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に在住外国人を招き、参加者と直接対話する機会を設け、講座を改善した。 ・地域のイベントに外国人が参加した際に有用なコミュニケーション手段である「やさしい日本語」の啓発活動を行った。



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・在住外国人の実態・要望等を調査等で把握し、需要や問題点を随時把握する。 ・国際交流協会や佐賀県等、多文化共生推進事業実施団体との方向性・内容と足並みをそろえ、相乗効果を図る。 ・先進地の事例にならった事業・施策で、実施までスピーディーに行う。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	日本語学習推進事業	事業期間	令和 4 ~ 年度
担当部署・係名	国際課 多文化共生係	担当課長名	馬郡 裕子
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	多文化共生の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	関係法令：日本語教育の推進に関する法律（令和元年法律第48号）第五条（地方公共団体の責務） 在住外国人が日本語を学び、学校・職場そして地域において円滑にコミュニケーションを図り生活することができる。 市民が地域の日本語教育を通じて在住外国人と交流し、多様な価値観を理解しつながる環境を整備する。				
事業の対象者	在住外国人、そして外国人と日頃触れ合う機会のある市民				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内既存地域日本語教室実態調査 ・教室間の連携推進のための会議 1回 ・公民館事業や市民グループ等の「やさしい日本語」勉強会への講師派遣 1回 ・市内日本語学習サポーター育成講座（入門編）の実施 2回シリーズ×1回 ・（文化庁補助事業）公民館、まちづくり協議会等との地域日本語教室開催に向けた準備会議 4回 ・（文化庁補助事業）郊外集住地区：久保泉・春日校区での日本語学習に係るニーズ調査 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	-	-	15		
うち佐賀市の負担額	-	-	0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
関係会議・研修、交流イベント等の開催・参加回数						回
R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標		
-	-	20	20	20		
		39				

成果指標②						単位
やさしい日本語等研修、教室活動の参加者・出席者数						人
R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標		
-	-	70	100	150		
		91				

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	既存教室との意見交換後、課題の「支援者不足」に対し、支援者養成講座を実施した。 外国人受入事業所へ日本語教室のニーズを調査、自治会長会等で報告し、教室設置への理解を促し、併せて有用なコミュニケーション手段である「やさしい日本語」の周知に着手した。



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・本市同様、法律上責務があり、文化庁補助事業も実施している県国際課と連携しつつ、日本語教育・学習の環境を整える。 ・地域の年中事業やイベントに在住外国人がスムーズに参加できるような雰囲気・きっかけづくりを目標に、日本人・外国人双方のコミュニケーション支援・啓発講座を行う。